

地域文化資料のデジタルアーカイブ ～ 沖縄の野外博物館の記録例 ～

加治工 尚子 (岐阜女子大学)

1. はじめに

野外博物館とは、建築物の集合体や屋外にある展示物を見たり触れたりできる博物館であり、歴史的建造物を移築・復元したものなどがあげられる。ここでは、昔の暮らしや道具、手仕事をそのまま見せたり体験できたりするものも多い。沖縄県内には、琉球村(恩納村)、おきなわ郷土村(本部町・国営沖縄記念公園内)、石垣やいま村(石垣市)等の古民家の集合体があり、かつての生活様式や建物の内部・外構について確認できる。

今回は、岐阜女子大学が記録を重ねてきた沖縄の住居に関する資料群から、「琉球村」に関する実践事例を紹介する。

2. デジタルアーカイブ実践事例 — 撮影・収録 —

(1) 琉球村 沖縄の文化・芸能などを見て体験できる施設。村内にある家屋群は国の登録文化財(有形・建造物)であり、水牛による昔ながらの製糖作業なども見ることができる。

◆ 琉球村の記録資料 (静止画+動画) * 遠景・近景、季節・天気・時間等の異なる資料群で構成



赤瓦屋根の民家



赤瓦屋根とシーサー



ヒンブン(目隠し、魔・風除け用の壁・塀)



台所



水瓶



仏壇



フール(便所)



家畜小屋



高倉



石敢當(魔除け)



神アシャギ



水牛と砂糖車

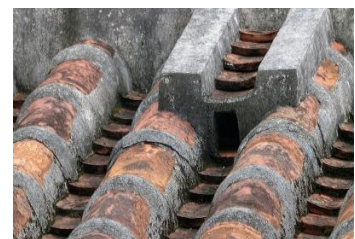
(2) オーラルヒストリー「私の見た沖縄の住宅事情」 仲本實氏から沖縄の住宅事情についてのお話を伺い、その後に学生らと琉球村を訪れて古民家を記録する機会を設けた。現場でも仲本氏の説明を聞きながら撮影することができたため、屋根の空気抜や木組みの構造、材質などがわかる写真が多くなり、利活用しやすい資料を蓄積することができた。撮影前に対象物についての知識を得ておくことで、記録者の視点がより詳細なものをとらえるように変化した良い例である。



沖縄の住宅について (仲本實氏)



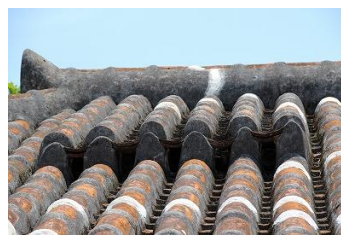
中村家の屋根の空気抜 (仲本氏提供)



中村家の屋根の空気抜 (仲本氏提供)



琉球村にて (仲本氏)



琉球村の古民家の空気抜



琉球村の古民家の屋根裏

3. 参考資料

- (1) 岐阜女子大学「博物館、図書館、教育、観光などの デジタル・アーカイブ学習用素材 I」(2010)
- (2) 仲本實ほか「沖縄デジタルアーカイブ 住 仲本實氏によるオーラルヒストリー『私の見た沖縄の住宅事情』『文化情報研究』Vol.18 No.1 (2016)